



# 甲府市 新たな産業施策の 構築に向けた調査・ 分析等業務

## 報告書（概要版）

有限責任 あずさ監査法人

2024/3/29

# 新たな産業施策の構築に向けた調査・分析等業務報告書（宝飾産業編：要旨）

01

02

甲府市宝飾産業のブランド確立シナリオ

市の財政への貢献度が高く、甲府市の特色ある産業である、宝飾産業の発展のためには、海外展開を見据えたブランドの確立が必要である。そのために、ステークホルダーの連携が重要となる。

- 今治タオとTIFFANY & Co.のブランド戦略を考察すると、「ターゲット層の明確化とそれに向けた製品開発及びブランドイメージの発信」という共通点が考察された。
- 宝飾品は、機能性よりも「デザイン」「ブランドのイメージ」といった定性的な概念が重視されるという特性があるため、一定の評価軸の設定が難しいという側面がある。このことから、複数の成功事例からブランディング戦略を検討すべきである。
- 今治の例では、行政職員の熱意と努力が地域全体を巻き込み、ブランディング戦略を推進したことで、ブランド化に成功した。
- 世界トップジュエリーブランドのブランド戦略は、甲府市の中堅中小宝飾関係企業がそのまま取り入れることは現実的には難しい。そのため以下のような取組を行政が担い、甲府市の宝飾産業界全体を強力に後押ししていくことが望ましい。
- 世界トップジュエリーブランドの戦略においても、実効性の高いものに対し集中的にリソースを投下することがブランドの確立に貢献している。
- 甲府市の中堅中小宝飾関係企業が持つ独自の技術の強みを伸ばし、多様で高い技術力の集積により作りだされるモノをブランド化していくためには、以下のような取組を行政が担い、甲府市の宝飾産業界の推進力を後押ししていくことが望ましい。

## 市内事業者のブランド力の確立に向けた支援パッケージの検討

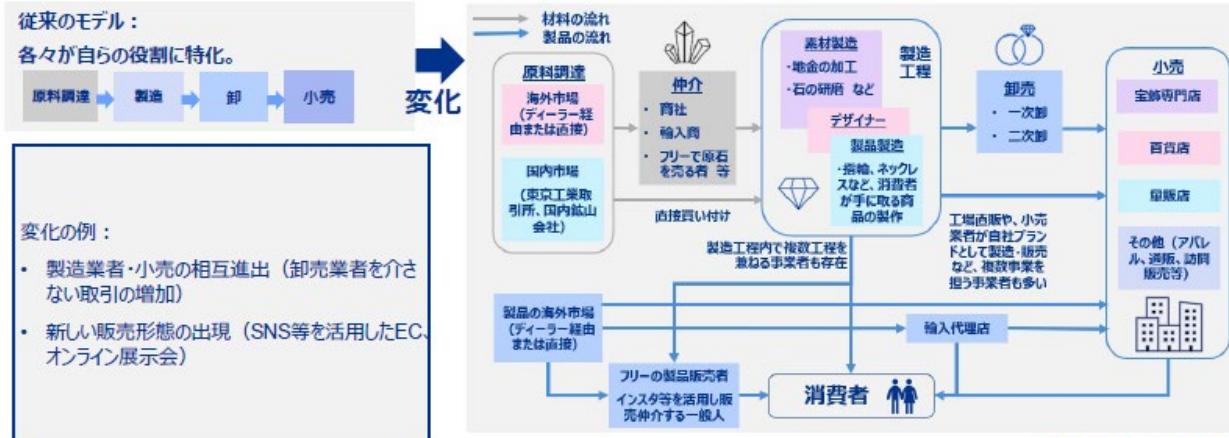
- ◆ 戦略策定：「甲府ジュエリー」をどのようなブランドとしたいのか、ターゲットの明確化
- ◆ 投資支援：技術開発や新規製品開発のための設備導入の支援
- ◆ 販売促進支援：宝飾関係イベントの質向上への支援の検討
- ◆ 人材確保：ブランドの中核となる人材確保・育成を支援

Next Step：「甲府ジュエリー」ブランドの確立を目的とした成長支援パッケージの詳細設計と投資対効果の検討

チャネルが多様化する宝飾産業

宝飾産業の販売チャネルは多様化している。この変容に柔軟に対応し、新たな販売チャネルを構築する企業も見られる。

## 変容するサプライチェーン\*



- ➡ ● 製造～卸～小売という甲府市における従来のバリューチェーン\*に加えて、SNSの普及により、EC等の新たな販売チャネルが出現・拡大している。
- 製造から販売まで、一貫した、もしくは、複数の機能を持つ事業者が増加傾向にある。

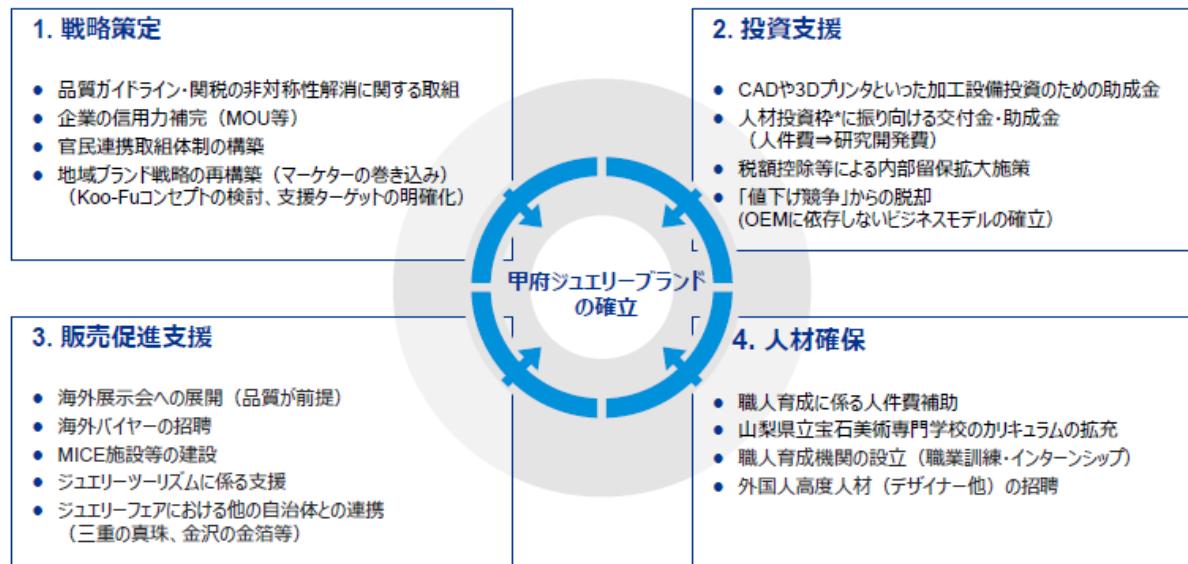
用語の定義（経済産業省白書より引用）：サプライチェーンとは、商品の企画・開発から、原材料や部品などの調達、生産、在庫管理、配送、販売、消費までのプロセス全体を指し、商品が最終消費者に届くまでの「供給の連鎖」。バリューチェーンとは、付加価値の連鎖。

03

04

ブランド確立過程における「成長支援パッケージ」の例

必要なタイミングで必要な支援をすることで企業の成長を後押し「甲府ジュエリー」ブランドの確立を実現する。

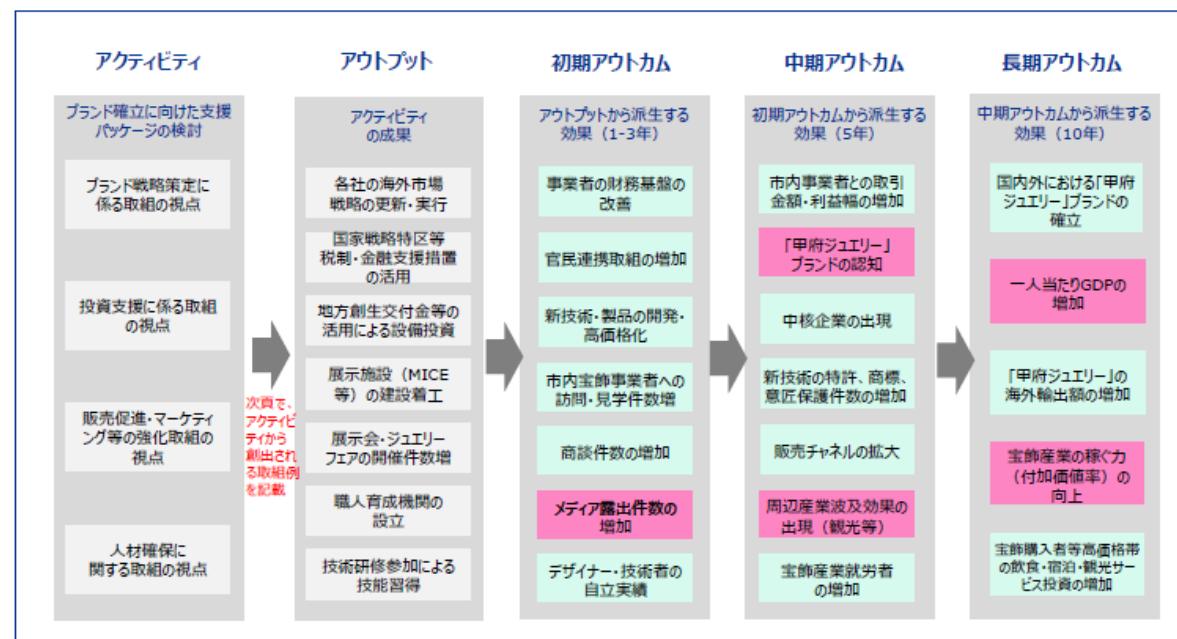


➡ このような施策の推進においては、地方創生推進交付金や国家戦略特区、JAPANブランド育成支援等事業といった国の支援措置の積極的な活用も合わせて検討することも一案である。

甲府市宝飾産業のブランド確立に向けたロジックモデルの例

ブランド確立に向けた官民連携の取組により、宝飾産業のブランド価値向上を実感できるアウトカムを目指す。最終的には、宝飾産業の「稼ぐ力」向上につながる。

「甲府ジュエリー」ブランドの確立に向けた取組から「一人当たりGDPの増加」までのロジックモデル（案）



\* OEMや受注生産が中心であり、資金繰り懸念はあまり聞かれなかった一方、利益率の低さから投資枠の確保が各社困難となっているのが実態。

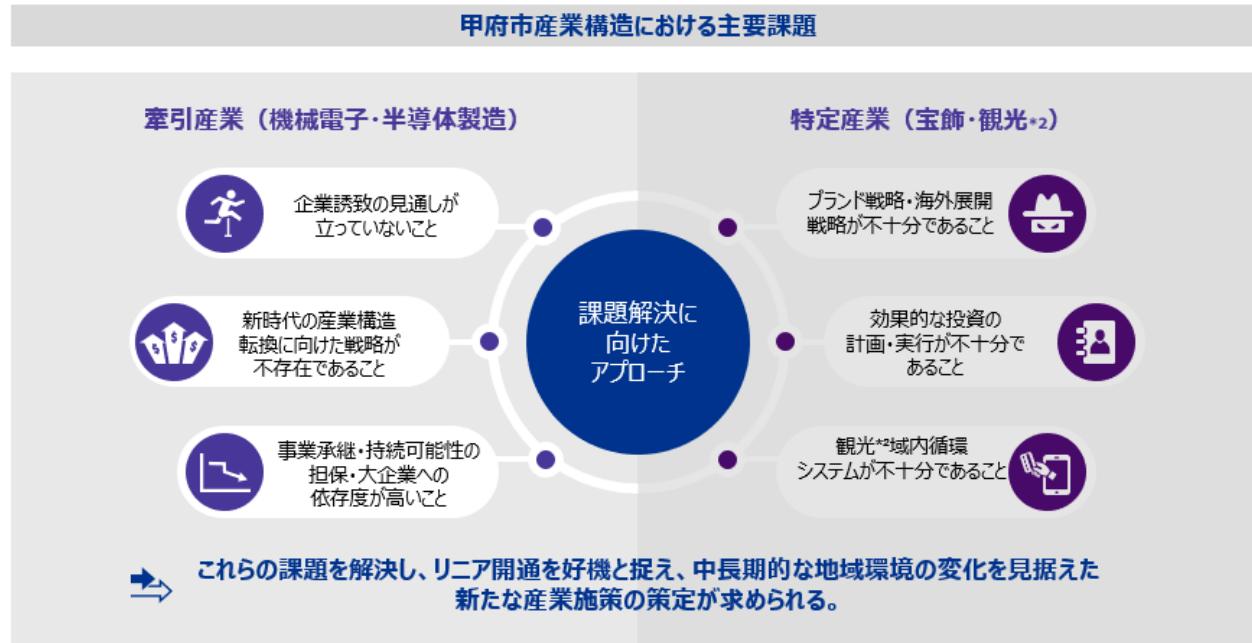
インタビューを基にKPMG作成

インタビューを基にKPMG作成

# 新たな産業施策の構築に向けた調査・分析等業務報告書（牽引産業編：要旨）

甲府市の産業課題－総括

甲府市の牽引産業と特定産業が抱える課題の解決により、社会的インパクト<sup>※1</sup>と経済効果を創出することを目指す。



※1 社会的インパクト…短期、長期の変化を含め、当該事業や活動の結果として生じた社会的、環境的なアウトカムのこと（内閣府）  
 ※2 観光は既に県内主力産業であり、牽引産業に含まれるという見解もあるが、今後宝飾産業との相乗効果が期待されることから、ここからは特定産業として整理する。

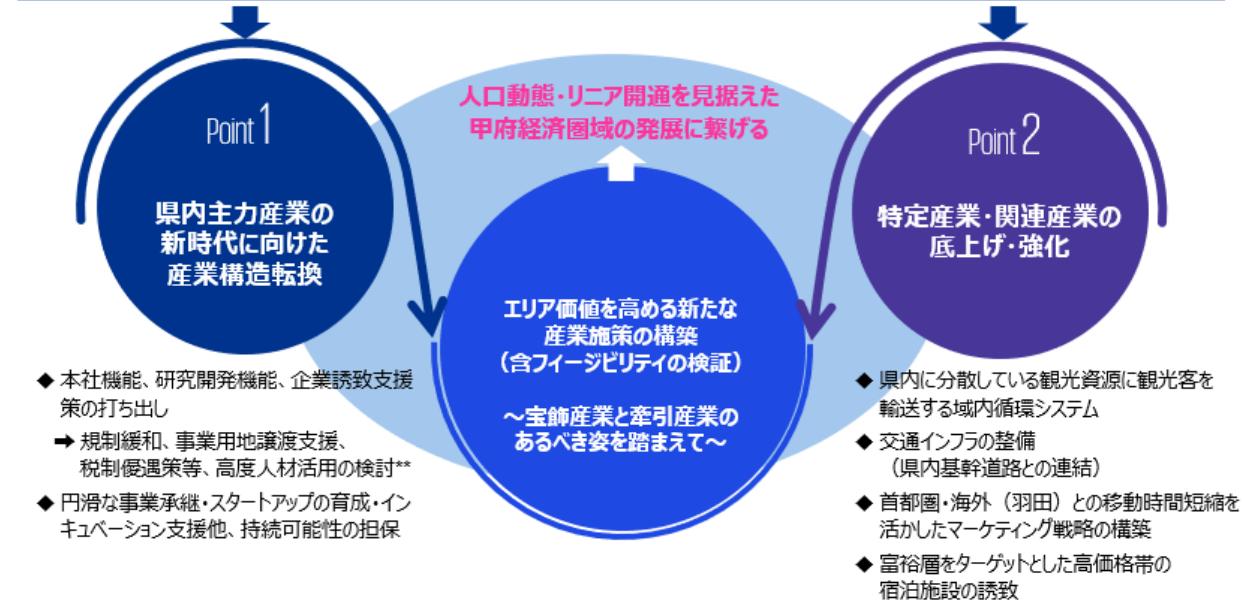
05

産業施策立案における検討論点

リニア開通に伴う影響は大きい。リニア開通の機会を最大限に活かす施策を打ち出すことで、牽引産業と特定産業を強化し、新たな「甲府経済圏域」を実現する。

06

## リニア開通に伴う首都圏・海外との移動距離短縮を活かした新たな産業施策の考え方

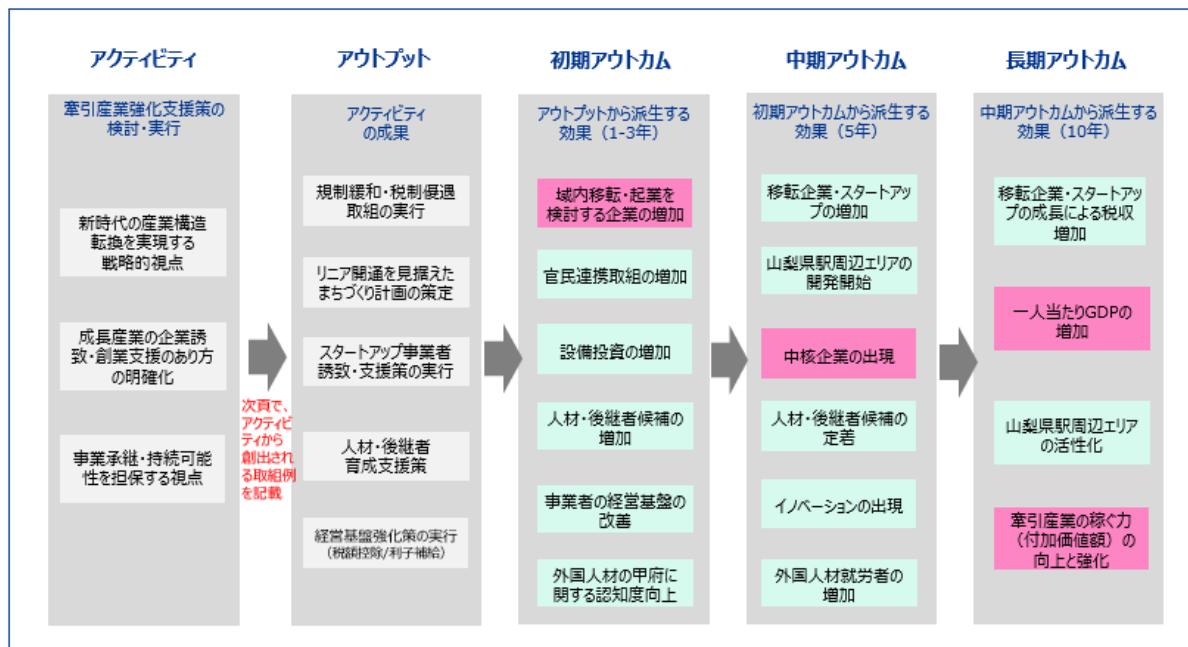


\* 甲府市リニア基本構想をP79-80に記載。 \*\* 国における支援策例（総合特区・国家戦略特区）をP72～P78に記載。

甲府市牽引産業の強化に向けたロジックモデルの例

牽引産業の持続可能性を担保しつつ、スタートアップ・R&D拠点等、新たな時代に向けた企業誘致・育成を図り、市民の一人当たりGDP増加に結び付く施策を検討する。

甲府市の牽引産業強化への取組から「牽引産業の稼ぐ力の向上」及び「一人当たりGDPの増加」までのロジックモデル（案）



インタビューを基にKPMG作成

07

今後の産業施策ロードマップの考え方

牽引産業・特定産業固有の課題解決のための施策を実行していく。中長期的には、産業施策が与える波及効果を、EBPMの視点も交えて検証すると、より効果的である。

08

